



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4064 URL <https://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 孝久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 横田 祐一 TEL 03-5462-8224
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	48,727	12.7	3,493	311.4	3,761	139.1	2,211	121.2
2024年3月期	43,231	△1.8	849	△32.7	1,573	△17.3	999	200.8

（注）包括利益 2025年3月期 4,206百万円（72.8％） 2024年3月期 2,433百万円（44.6％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	237.50	—	6.5	6.0	7.2
2024年3月期	106.42	—	3.1	2.6	2.0

（参考）持分法投資損益 2025年3月期 △4百万円 2024年3月期 △14百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	63,360	37,906	56.4	3,835.18
2024年3月期	61,020	34,623	53.5	3,506.87

（参考）自己資本 2025年3月期 35,721百万円 2024年3月期 32,630百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	4,105	△1,212	△2,543	13,063
2024年3月期	5,373	△2,437	△1,264	12,057

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	30.00	—	50.00	80.00	747	75.2	2.3
2025年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	745	33.7	2.2
2026年3月期（予想）	—	41.00	—	41.00	82.00		33.2	

（注）2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 特別配当 15円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	0.6	3,300	△5.5	3,400	△9.6	2,300	4.0	247.01

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	9,419,659株	2024年3月期	9,419,659株
2025年3月期	105,536株	2024年3月期	114,821株
2025年3月期	9,311,257株	2024年3月期	9,395,298株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	24,407	9.5	△16	—	2,309	70.7	1,842	202.1
2024年3月期	22,287	△1.9	△1,022	—	1,353	6.7	609	16.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	197.83	—
2024年3月期	64.90	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	42,869	24,129	56.3	2,590.59
2024年3月期	43,945	23,177	52.7	2,490.89

(参考) 自己資本 2025年3月期 24,129百万円 2024年3月期 23,177百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当事業年度において、半導体及び電子部品向けの電子・機能製品や、二輪車向けやナンバープレート向けのフィルム・シート製品の出荷が増加したことなどにより、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想をご利用するに当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（2）今後の見通し」をご覧ください。

決算補足説明資料については、2025年5月13日（火）に当社ホームページに掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況	2
(2) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	15
(重要な後発事象の注記)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績・財政状態の概況

①全般の概況

当連結会計年度における世界経済は、先進国におけるインフレ抑制のための利上げ政策の継続や、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、原燃料価格の高止まり等もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの事業では、電子・機能製品は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加しました。フィルム・シート製品は、二輪車向け製品やナンバープレート向け製品の出荷が増加しました。建材関連は、アルミ地金価格高騰による原材料価格の上昇により収益性が悪化しました。エンジニアリングは、製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備の受注増により売上が増加しました。

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高は前期比5,495百万円（12.7%）増の48,727百万円、営業利益は前期比2,644百万円（311.4%）増の3,493百万円、経常利益は前期比2,188百万円（139.1%）増の3,761百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比1,211百万円（121.2%）増の2,211百万円となりました。

②セグメント別の概況

（電子・機能製品）

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬、医農薬中間体などの機能化学品、粘・接着剤などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加し、前期比増収増益となりました。機能樹脂は、原材料価格の上昇に応じた製品価格の改定により損益へプラスに影響しましたが、中国及び国内市場向け次世代製品への切替遅延により、光学関連分野向け粘・接着剤の出荷が減少し、前期比減収減益となりました。電子素材は、エレクトロニクス市況の緩やかな回復に伴い、半導体及び電子部品向け製品の出荷が増加しましたが、在庫削減により損益へマイナスに影響し、前期比増収減益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は前期比868百万円（5.3%）増の17,414百万円、セグメント利益は前期比292百万円（45.5%）増の936百万円となりました。

（フィルム・シート製品）

当該事業の主な取扱製品は、フィルム、ステッカー、再帰反射シートなどであります。

フィルムは、中国での拡販により、レーザーマーキングラベルの出荷が増加し、前期比増収増益となりました。ステッカーは、ベトナムやインドネシア、ブラジルでの二輪車生産台数の増加により、二輪車関連製品の出荷が増加し、前期比増収増益となりました。再帰反射シートは、欧州での販売シェア拡大によりナンバープレート向け製品の出荷が増加し、前期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は前期比3,456百万円（19.8%）増の20,955百万円、セグメント利益は前期比1,912百万円（291.6%）増の2,568百万円となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住設用樹脂押出成形品や戸建住宅用アルミ手すり、マンション向け高強度・高機能アルミ手すりなどのアルミ建材であります。

省エネ補助金制度による住宅リフォーム需要増により住設用樹脂押出成形品の出荷が増加したものの、住宅着工戸数の減少によるアルミ建材の売上が減少したことに加え、アルミ地金価格高騰による原材料価格の上昇により当セグメントの売上高は前期比108百万円（1.5%）減の7,004百万円、セグメント利益は前期比197百万円（72.5%）減の75百万円となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・電力・環境分野の産業プラントの設計・施工・設備やカーボンニュートラルトランジション設備などであります。

製鉄分野向けカーボンニュートラルトランジション設備の受注増により売上が増加したことに加え、調達効率化等のコストダウンが損益へプラスに影響し、当セグメントの売上高は前期比1,107百万円（44.5%）増の3,598百万円、セグメント利益は433百万円（前期は136百万円のセグメント損失）となりました。

③資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産は、前期末比2,340百万円増加し、63,360百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上債権の増加などにより、前期末比2,732百万円増加し、38,453百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却による減少などにより、前期末比391百万円減少し、24,907百万円となりました。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債は、前期末比941百万円減少し、25,454百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金の返済による減少はあったものの、仕入債務の増加などにより、前期末比349百万円増加し、15,030百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済などにより、前期末比1,291百万円減少し、10,423百万円となりました。

なお、当連結会計年度末における有利子負債残高は、前期末比1,589百万円減少し、9,902百万円となりました。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は、前期末比3,282百万円増加し、37,906百万円となりました。

このうち、株主資本は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより、前期末比1,391百万円増加し、25,388百万円となりました。その他の包括利益累計額は、円安に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比1,698百万円増加し、10,333百万円となりました。

なお、当社は、当連結会計年度において、取締役会決議に基づき、自己株式17百万円を処分しております。

以上の結果、自己資本比率は前期末比プラス2.9ポイントの56.4%となりました。

④キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益が増加したものの、増収に伴う売上債権の増加など運転収支の悪化により、前期比1,267百万円収入が減少し、4,105百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出の減少などにより、前期比1,225百万円支出が減少し、1,212百万円の支出となりました。

なお、フリー・キャッシュ・フロー（営業活動と投資活動による各キャッシュ・フローの合計）は、前期比42百万円収入が減少し、2,893百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入が減少したことなどにより、前期比1,278百万円支出が増加し、2,543百万円の支出となりました。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前期末比1,006百万円増加して13,063百万円となりました。

また、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率（％）	47.0	50.5	53.5	56.4
時価ベースの自己資本比率（％）	20.1	20.0	28.0	26.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	3.4	3.3	2.1	2.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	37.5	45.2	77.0	46.8

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

引き続き成長が見込まれる分野へ重点的に設備投資を行うとともに、更なる収益拡大と在庫削減を中心とした運転収支の改善など資産効率の向上に努め、フリー・キャッシュ・フローの拡大を図ってまいります。

⑤利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、将来の成長に向けた事業改革を推進し、経営環境の変化に迅速に対応できる企業を目指していくとともに、株主の皆様への利益配分を重要な責務と考え、長期安定的な配当を実現することを基本方針としております。

当期の配当金につきましては、上記基本方針に基づき、1株当たり80円とさせていただきます予定であります。

次期の配当金につきましては、上記基本方針並びに今後の事業展開及び内部留保等を総合的に勘案し、株主還元の実現を目指し1株当たり41円の間配当金を含め、1株当たり82円の年間配当金とさせていただきます予定であります。

(2) 今後の見通し

2025年度の世界経済は、米国の関税政策の影響等により減速懸念が高まるとともに、先行きに対する不確実性は増大するものと予想されます。

このような状況のもと、通期の連結業績につきましては、米国の関税政策の影響を考慮し、売上高49,000百万円、営業利益3,300百万円、経常利益3,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,300百万円を見込んでおります。

なお、今後の見通しにつきましては、当社グループが中期経営計画において掲げている財務目標等を年度としていることなどから、通期の業績予想のみとしております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,442	14,538
受取手形、売掛金及び契約資産	12,526	13,928
商品及び製品	4,699	4,779
仕掛品	2,030	2,143
原材料及び貯蔵品	2,638	2,749
その他	566	537
貸倒引当金	△183	△222
流動資産合計	35,721	38,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,634	24,412
減価償却累計額	△15,936	△16,888
建物及び構築物（純額）	7,698	7,523
機械装置及び運搬具	35,163	36,878
減価償却累計額	△31,705	△33,245
機械装置及び運搬具（純額）	3,458	3,632
工具、器具及び備品	7,181	7,219
減価償却累計額	△6,313	△6,438
工具、器具及び備品（純額）	867	780
土地	10,610	10,667
リース資産	1,581	1,663
減価償却累計額	△1,219	△1,356
リース資産（純額）	361	306
建設仮勘定	377	144
有形固定資産合計	23,374	23,055
無形固定資産	629	657
投資その他の資産		
投資有価証券	435	387
繰延税金資産	603	550
その他	297	297
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	1,295	1,195
固定資産合計	25,299	24,907
資産合計	61,020	63,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,537	5,890
短期借入金	6,214	5,714
未払法人税等	175	380
賞与引当金	622	626
役員賞与引当金	32	51
その他	2,098	2,366
流動負債合計	14,681	15,030
固定負債		
長期借入金	4,943	3,891
退職給付に係る負債	3,720	3,391
役員退職慰労引当金	22	21
再評価に係る繰延税金負債	2,411	2,482
その他	616	638
固定負債合計	11,714	10,423
負債合計	26,396	25,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,797	7,797
資本剰余金	3,112	3,113
利益剰余金	13,298	14,672
自己株式	△212	△195
株主資本合計	23,996	25,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49	27
繰延ヘッジ損益	0	1
土地再評価差額金	5,342	5,271
為替換算調整勘定	3,333	4,674
退職給付に係る調整累計額	△90	358
その他の包括利益累計額合計	8,634	10,333
非支配株主持分	1,992	2,184
純資産合計	34,623	37,906
負債純資産合計	61,020	63,360

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	43,231	48,727
売上原価	31,027	33,124
売上総利益	12,203	15,603
販売費及び一般管理費	11,354	12,109
営業利益	849	3,493
営業外収益		
受取利息	223	198
受取配当金	17	14
為替差益	545	1
売電収入	57	53
補助金収入	2	66
その他	130	132
営業外収益合計	977	466
営業外費用		
支払利息	70	86
賃貸収入原価	45	22
売電費用	65	52
持分法による投資損失	14	4
その他	57	32
営業外費用合計	253	198
経常利益	1,573	3,761
特別利益		
固定資産売却益	98	—
投資有価証券売却益	206	—
損害賠償金収入	1,666	—
特別利益合計	1,971	—
特別損失		
固定資産除却損	86	216
減損損失	1,660	84
特別損失合計	1,746	300
税金等調整前当期純利益	1,797	3,460
法人税、住民税及び事業税	662	958
過年度法人税等戻入額	△120	—
法人税等調整額	83	51
法人税等合計	625	1,009
当期純利益	1,171	2,450
非支配株主に帰属する当期純利益	172	239
親会社株主に帰属する当期純利益	999	2,211

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	1,171	2,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△120	△30
繰延ヘッジ損益	1	0
土地再評価差額金	—	△71
為替換算調整勘定	1,246	1,403
退職給付に係る調整額	135	452
その他の包括利益合計	1,261	1,755
包括利益	2,433	4,206
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,193	3,909
非支配株主に係る包括利益	240	296

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,789	3,103	12,909	△12	23,789
当期変動額					
新株の発行	8	8			17
剰余金の配当			△611		△611
親会社株主に帰属する 当期純利益			999		999
土地再評価差額金の取崩			0		0
自己株式の取得				△199	△199
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)					—
当期変動額合計	8	8	388	△199	206
当期末残高	7,797	3,112	13,298	△212	23,996

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	177	△0	5,342	2,146	△224	7,441	1,854	33,086
当期変動額								
新株の発行								17
剰余金の配当								△611
親会社株主に帰属する 当期純利益								999
土地再評価差額金の取崩								0
自己株式の取得								△199
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	△128	1	△0	1,186	133	1,192	138	1,330
当期変動額合計	△128	1	△0	1,186	133	1,192	138	1,537
当期末残高	49	0	5,342	3,333	△90	8,634	1,992	34,623

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,797	3,112	13,298	△212	23,996
当期変動額					
剰余金の配当			△837		△837
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,211		2,211
土地再評価差額金の取崩			0		0
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		1		17	18
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	1	1,373	17	1,391
当期末残高	7,797	3,113	14,672	△195	25,388

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	49	0	5,342	3,333	△90	8,634	1,992	34,623
当期変動額								
剰余金の配当								△837
親会社株主に帰属する 当期純利益								2,211
土地再評価差額金の取崩								0
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								18
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	△21	0	△71	1,341	449	1,698	191	1,890
当期変動額合計	△21	0	△71	1,341	449	1,698	191	3,282
当期末残高	27	1	5,271	4,674	358	10,333	2,184	37,906

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,797	3,460
減価償却費	2,014	1,921
減損損失	1,660	84
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	96	55
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23	26
受取利息及び受取配当金	△241	△212
支払利息	70	86
為替差損益 (△は益)	△106	△145
持分法による投資損益 (△は益)	14	4
固定資産除却損	86	216
固定資産売却損益 (△は益)	△98	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△206	—
損害賠償金収入	△1,666	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△37	△1,041
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,027	154
仕入債務の増減額 (△は減少)	△567	170
その他	376	△83
小計	4,207	4,714
利息及び配当金の受取額	261	238
利息の支払額	△69	△87
法人税等の支払額	△775	△759
損害賠償金の受取額	1,749	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,373	4,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,525	△1,599
定期預金の払戻による収入	1,300	1,507
有形固定資産の取得による支出	△2,939	△993
有形固定資産の売却による収入	291	0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	469	11
貸付けによる支出	△3	△1
貸付金の回収による収入	3	3
その他	△33	△138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,437	△1,212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200	△100
長期借入れによる収入	2,700	1,300
長期借入金の返済による支出	△3,203	△2,751
配当金の支払額	△611	△837
リース債務の返済による支出	△70	△63
その他	△279	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,264	△2,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	564	656
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,235	1,006
現金及び現金同等物の期首残高	9,821	12,057
現金及び現金同等物の期末残高	12,057	13,063

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1 報告セグメントの概要

当社グループの事業活動は、製品・サービスごとに国内外の戦略を包括的に立案・実行する事業本部等によって展開されており、当社の取締役会が、それらの事業ごとに分離された財務情報を入手し、経営資源の配分の決定や業績の評価など、定期的に検討を行っております。よって、当社グループは、それらの製品・サービスを基礎として、以下の4つを報告セグメントとしております。

- (1) 電子・機能製品……………ファインケミカル製品、医薬品原薬・医農薬中間体、粘・接着剤、半導体用金型クリーニング材、セラミック基板の製造販売
- (2) フィルム・シート製品…フィルム、ステッカー、再帰反射シートの製造販売
- (3) 建材関連……………住設用樹脂押出成形品・戸建住宅用アルミ手すり、マンション向け高強度・高機能アルミ手すりなどのアルミ建材の製造販売
- (4) エンジニアリング……………鉄鋼・化学・電力・環境分野の産業プラントの設計・施工・設備、カーボンニュートラルトランジション設備

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

報告される事業セグメントの会計処理は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結 財務諸表 計上額 (注) 1
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,495	17,498	7,104	2,132	43,231	—	43,231
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	—	7	358	416	△416	—
計	16,545	17,498	7,112	2,491	43,648	△416	43,231
セグメント利益又は 損失(△)	643	655	272	△136	1,436	△586	849
その他の項目							
減価償却費	718	692	112	56	1,580	434	2,014
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	320	755	40	30	1,146	177	1,324

(注) 1 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失の調整額には、各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 減価償却費の調整額には、各セグメントに配分していない資産に係る償却費が含まれております。

4 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額には、各セグメントに配分していない資産に係る増加額が含まれております。

5 セグメント資産の金額は経営資源の配分の決定や業績の評価など、定期的な検討の対象となっていないため記載しておりません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	連結 財務諸表 計上額 (注) 1
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,359	20,955	6,989	3,423	48,727	—	48,727
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	—	14	175	245	△245	—
計	17,414	20,955	7,004	3,598	48,972	△245	48,727
セグメント利益	936	2,568	75	433	4,012	△518	3,493
その他の項目							
減価償却費	713	627	93	60	1,495	426	1,921
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	501	290	65	47	905	303	1,208

(注) 1 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 減価償却費の調整額には、各セグメントに配分していない資産に係る償却費が含まれております。

4 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額には、各セグメントに配分していない資産に係る増加額が含まれております。

5 セグメント資産の金額は経営資源の配分の決定や業績の評価など、定期的な検討の対象となっていないため記載しておりません。

(1株当たり情報の注記)

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
1株当たり純資産額	3,506円87銭	1株当たり純資産額	3,835円18銭
1株当たり当期純利益 (算定上の基礎)	106円42銭	1株当たり当期純利益 (算定上の基礎)	237円50銭
1 1株当たり純資産額		1 1株当たり純資産額	
連結貸借対照表の純資産の部の合計額	34,623百万円	連結貸借対照表の純資産の部の合計額	37,906百万円
普通株式に係る純資産額	32,630百万円	普通株式に係る純資産額	35,721百万円
差異の主な内訳		差異の主な内訳	
非支配株主持分	1,992百万円	非支配株主持分	2,184百万円
普通株式の発行済株式数	9,419,659株	普通株式の発行済株式数	9,419,659株
普通株式の自己株式数	114,821株	普通株式の自己株式数	105,536株
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数	9,304,838株	1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数	9,314,123株
2 1株当たり当期純利益		2 1株当たり当期純利益	
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益	999百万円	連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益	2,211百万円
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	999百万円	普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	2,211百万円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳		普通株主に帰属しない金額の主要な内訳	
該当事項はありません。		該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	9,395,298株	普通株式の期中平均株式数	9,311,257株

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。